



平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月9日

上場会社名 株式会社MORESCO 上場取引所 東
 コード番号 5018 URL http://www.moresco.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤田 民生
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理本部長 (氏名) 宮川 弘和 TEL 078-303-9010
 四半期報告書提出予定日 平成27年7月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	6,430	△0.1	559	18.1	647	20.8	431	39.1
27年2月期第1四半期	6,439	21.0	473	22.1	535	2.6	310	△6.4

(注) 包括利益 28年2月期第1四半期 485百万円 (56.2%) 27年2月期第1四半期 311百万円 (△49.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	44.60	—
27年2月期第1四半期	32.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第1四半期	24,546	13,827	50.6	1,283.53
27年2月期	24,411	13,396	49.1	1,238.66

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 12,408百万円 27年2月期 11,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	17.50	—	22.50	40.00
28年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,500	12.9	1,100	11.3	1,200	7.9	750	15.2	77.58
通期	30,400	13.3	2,400	6.7	2,800	1.3	1,700	3.7	175.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期1Q	9,668,000株	27年2月期	9,668,000株
② 期末自己株式数	28年2月期1Q	610株	27年2月期	610株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期1Q	9,667,390株	27年2月期1Q	9,667,422株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

平成27年7月27日に、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	8
(1) 製品およびサービスに関する情報	8
(2) 海外売上高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税の影響が徐々にうすれ、1月から3月の経済成長率が年率3.9%になる等、景気回復傾向があらわれてきたものの、国内の自動車生産台数は依然として前年割れの状況が続いており、当社をめぐる環境は厳しいものがありました。一方、米国経済は好調な経済環境を背景に利上げ時期を探る展開となってきましたが、中国、東南アジアについては、経済成長の鈍化傾向が鮮明になってきています。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、合成潤滑油、インドネシアでの紙おむつ用ホットメルト接着剤、北米での特殊潤滑油等が堅調な売上高を維持したものの、その他の分野においては、国内外での需要の減少等により、売上高は伸び悩みました。一方で、原材料価格低下に伴う売上原価の低減により利益は増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,430百万円（前年同期比0.1%減）となり、経常利益は647百万円（同20.8%増）、四半期純利益は431百万円（同39.1%増）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

①日本

（特殊潤滑油）

主力の特殊潤滑油は、今年度注力している水溶性切削油剤において新規顧客の獲得が比較的順調に進み、またダイカスト用油剤では輸出が増加したものの、全体としては、主要顧客である自動車生産の低迷により売上高は伸び悩みました。

（合成潤滑油）

高温用合成潤滑油は自動車のベアリング向けグリース基油の好調に支えられ、売上高は堅調に推移しました。また、ハードディスク表面潤滑剤は、新製品への切り替えが順調に進むとともに、円安の寄与もあって売上高が増加しました。

（素材）

流動パラフィンは、化粧品原料用途が堅調に推移したものの、その他分野における需要の伸び悩み、原材料価格低下に伴う販売単価の下落により売上高は減少しました。また、金属加工油の添加剤として使用される石油スルホネートの売上高は国内、輸出ともに安定的に推移しました。

（ホットメルト接着剤）

ホットメルト接着剤は、主力である大人用紙おむつなどの衛生材用途が伸び悩む中、粘着用途や自動車用途等の分野で新規顧客の獲得により売上高を伸ばすことができました。

以上の結果、当セグメントの売上高は4,962百万円（前年同期比3.0%減）となり、セグメント利益は335百万円（同33.9%増）となりました。

②中国

中国では、経済成長率、自動車生産台数伸び率の鈍化はあったものの、ダイカスト用油剤、難燃性作動液、ホットメルト接着剤が前年同期の売上高を上回り、全体として堅調に推移しました。

当セグメントの売上高は649百万円（前年同期比12.4%増）となり、セグメント利益は73百万円（同3.5%減）となりました。

③東南アジア

タイでは、自動車生産台数が依然低調であり、特殊潤滑油の販売については厳しい状況が続きましたが、インドネシアにおける子供用紙おむつ向けホットメルト接着剤の生産が順調に拡大している他、ダイカスト用油剤、難燃性作動液の売上高が堅調に推移した結果、東南アジア全体では好調を維持しました。

当セグメントの売上高は1,003百万円（前年同期比12.6%増）となり、セグメント利益は110百万円（同3.2%減）となりました。

④北米

北米では、堅調な自動車生産を背景に、自動車関連顧客向けの販売が順調に推移するとともに、前期進出したメキシコにおける特殊潤滑油等の売上高が増加しました。また、合成潤滑油や石油スルホネートが売上高を伸ばしました。

当セグメントの売上高は207百万円（前年同期比27.3%増）となり、セグメント利益は22百万円（同5.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて135百万円増加し、24,546百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が161百万円、有形固定資産が481百万円増加した一方で受取手形及び売掛金が446百万円、たな卸資産が117百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて296百万円減少し、10,719百万円となりました。主な要因は、短期借入金が911百万円増加した一方で支払手形及び買掛金が631百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて431百万円増加し、13,827百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を基礎とする方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が127百万円増加、退職給付に係る負債が209百万円減少し、利益剰余金が217百万円増加しております。なお、退職給付に係る資産については、投資その他の資産に含めて表示しております。また、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,502	2,663
受取手形及び売掛金	6,895	6,448
商品及び製品	2,396	2,492
原材料及び貯蔵品	1,692	1,479
その他	354	476
貸倒引当金	△22	△21
流動資産合計	13,815	13,536
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,259	1,421
機械装置及び運搬具（純額）	1,146	1,172
土地	2,438	2,436
その他（純額）	1,837	2,132
有形固定資産合計	6,679	7,160
無形固定資産		
のれん	1,111	1,079
その他	645	652
無形固定資産合計	1,756	1,731
投資その他の資産	2,160	2,118
固定資産合計	10,595	11,009
資産合計	24,411	24,546
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,058	4,427
短期借入金	1,898	2,809
未払法人税等	454	278
賞与引当金	435	219
その他	1,044	1,258
流動負債合計	8,888	8,991
固定負債		
長期借入金	1,374	1,234
長期末払金	63	60
退職給付に係る負債	571	356
その他	119	78
固定負債合計	2,127	1,728
負債合計	11,015	10,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,091	2,091
資本剰余金	1,951	1,951
利益剰余金	6,991	7,422
自己株式	△1	△1
株主資本合計	11,032	11,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67	74
為替換算調整勘定	850	843
退職給付に係る調整累計額	26	29
その他の包括利益累計額合計	943	946
少数株主持分	1,421	1,418
純資産合計	13,396	13,827
負債純資産合計	24,411	24,546

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	6,439	6,430
売上原価	4,517	4,367
売上総利益	1,922	2,063
販売費及び一般管理費	1,448	1,504
営業利益	473	559
営業外収益		
受取利息	4	7
受取配当金	1	1
持分法による投資利益	33	52
為替差益	22	17
その他	11	18
営業外収益合計	70	94
営業外費用		
支払利息	5	4
その他	3	2
営業外費用合計	9	7
経常利益	535	647
税金等調整前四半期純利益	535	647
法人税、住民税及び事業税	187	222
法人税等調整額	△35	△73
法人税等合計	153	148
少数株主損益調整前四半期純利益	383	498
少数株主利益	73	67
四半期純利益	310	431

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	383	498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	7
為替換算調整勘定	△46	△24
退職給付に係る調整額	—	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△21	1
その他の包括利益合計	△72	△13
四半期包括利益	311	485
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	241	434
少数株主に係る四半期包括利益	70	51

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,814	575	890	159	6,439	—	6,439
セグメント間の内部 売上高又は振替高	301	2	1	3	307	△307	—
計	5,115	577	890	163	6,746	△307	6,439
セグメント利益	250	76	113	23	462	11	473

(注) 1. セグメント利益の調整額11百万円には、セグメント間取引消去11百万円、たな卸資産の調整額△1百万円および貸倒引当金の調整額1百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年5月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,583	647	993	207	6,430	—	6,430
セグメント間の内部 売上高又は振替高	379	2	10	—	392	△392	—
計	4,962	649	1,003	207	6,821	△392	6,430
セグメント利益	335	73	110	22	539	20	559

(注) 1. セグメント利益の調整額20百万円には、セグメント間取引消去21百万円、たな卸資産の調整額△1百万円および貸倒引当金の調整額0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 製品およびサービスに関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成27年3月1日至平成27年5月31日）

外部顧客への売上高	金額（百万円）	前年四半期比（％）
化学品事業	6,416	99.9
特殊潤滑油	2,949	102.7
合成潤滑油	742	124.5
素材	842	78.4
ホットメルト接着剤	1,608	101.6
その他	275	91.4
賃貸ビル事業	13	98.1
合計	6,430	99.9

(2) 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成27年3月1日至平成27年5月31日）

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高（百万円）	2,141	243	19	2,403
II. 連結売上高（百万円）				6,430
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	33.3	3.8	0.3	37.4

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、シンガポール

北米……………米国、メキシコ

その他……………ブラジル

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。